

9月は「がん征圧月間」

がん検診 あなたは受けましたか？

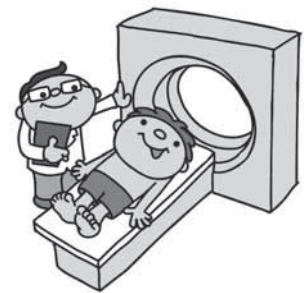
●問い合わせ 健康づくり課 (☎34-3217 ㊟39-2523)

がんは死亡原因の第一位

1981年以来、日本の死亡原因の一位はがん(悪性新生物)です。日本人の2人に1人はがんになり、3人に1人はがんで命を落としています。部位別で見ると、男性は肺がん、女性は大腸がんで亡くなる方が多くなっています。

がん検診の効果

がんは早期に発見できれば治る可能性が高く、治療による身体への負担も少なくて済みます。(左のグラフ参照)
がんは早期の段階では自覚症状がほとんどありません。検診を受診することが早期発見につながります。

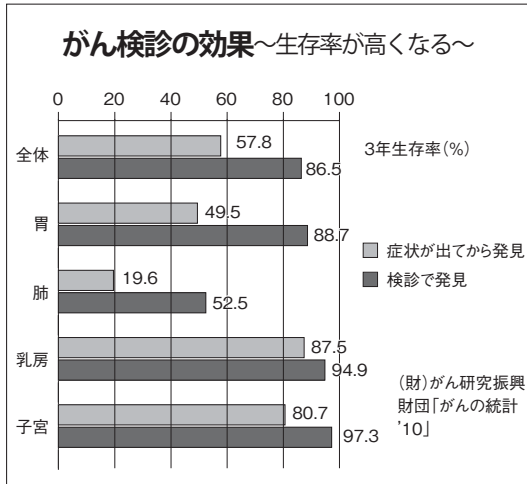


がん検診の受診券・各種検診のご案内冊子

今年度から、がん検診受診券や各種検診のご案内冊子の個人通知を始めました。(松本市国民健康保険加入者や、過去5年間に市のがん検診を受けた方などに6月中旬に発送済み)
がん検診ご希望の方には、随時受診券とご案内冊子を送りしています。ご希望の方は、健康づくり課までご連絡ください。

死亡数の多いがんの部位は・・・ (長野県平成22年)		
	男性	女性
第1位	肺	大腸
第2位	胃	胃
第3位	大腸	肺

人口動態統計より



▲各種検診のご案内冊子と緑色の封筒

9月30日(日) がん検診を実施します！

9月30日(日)に開催される健康フェスティバルで、肺がんCT検診と乳がん(マンモグラフィ)検診を実施します。予約制、先着順です。お早めにお申し込みください。

- 日時 9月30日(日) 午前9時～午後3時
- 会場 松本市総合体育館

【肺がんCT検診】

- 対象 40歳以上の方(3年に1回)
- 定員 100人
- 自己負担額 2,000円

【乳がん(マンモグラフィ)検診】

- 対象 40歳以上の女性(2年に1回)
- 定員 40人
- 自己負担額 1,680円

- 申し込み
健康づくり課 (☎34-3217 ㊟39-2523)

—「肺がんCT検診」って？

肺全体の断面図を撮影します。撮影時間は約30秒。レントゲンでは見つけにくい小さながん(5ミリ程度)も発見できます。

- 肺がんは60代から増えています。
- たばこは肺がんのリスクを高めます(非喫煙者の4.5倍)。しかし、たばこを吸わない方からも肺がんは発見されていますので、定期的に受診してください。

—「マンモグラフィ検診」って？

乳房を上下左右から撮影し、触診ではわからない早期のがんを発見できます。

- 乳がんは40代後半から増えています。
- 早期に発見し、治療すれば90%以上が治ります。